



人は誰もが個性である。
同じ人はいない。
だから選別と差別のない
インクルーシブ教育が必要だ

- 昨年9月に、国連が日本政府に勧告をした。「障害のある子どもにインクルーシブ教育の権利を」。つまり権利を奪われた子どもたちが日本にいと国連は勧告した。この国は子どもを大切にす国であると私たちは思い込んでいるのかもしれない。
- インクルーシブ教育とは、障害のある子どもと障害のない子どもが、同じ教室で学ぶ教育のことである。たっいま障害のある子どもは、特別支援学校・学級で学ぶ現実が圧倒的に多く、それは選別と差別をされている結果です。その教育のありようを是正し、平等を基本にして、多様性をたつとび、自立と共生をめざす人をつくる教育がインクルーシブ教育なのです。
- 私が生まれ育った家庭は、地元の小学校への通学を望む障害のある兄がいて、家族全員が兄の生き方を応援する家庭でした。だから私は物心ついた時から、水や空気のようにインクルーシブ教育について学び考えてきました。選別と差別のない教育を思考し実現をめざすのは私の生き方の原点です。
- しかし残念ながら、インクルーシブ教育は理想的な夢にすぎず、したがって実現は難しいという意見があります。
- この意見に私は断固反対します。これは現実主義ではなく、選別と差別の上塗りです。インクルーシブ教育は理想ではなく、いまある選別と差別をやめるために必要な教育制度です。その意義を認めて、ただちに最初の一步を、ふみだすべきですし、これこそが「共に生きる！」と私は考えます。
- 私は、保育園・学童保育クラブ・児童館などの子育て問題、教育問題、介護などの福祉問題、人と人が知り合う地域コミュニティ作り、反戦平和を議員の仕事のメインテーマに掲げています。どんなに小さな一歩でも行動を開始し、前進していきたいと考えています。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

こんにちは！ 目黒区議会議員 金井ひろし です。

District Administration Report & Activity Report



区政・活動報告レポート

No.15 2023 新年号

ADDRESS 〒152-0032
東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL : 080-5195-2909
E-mail : kanai.hi64@gmail.com
Official Web Site : kanai-hi64.com



facebook



twitter



Official Web Site



金井ひろし E-mail

昨年最終の目黒区議会・第4回定例会（定期で通常開催される区議会を定例会と呼びます）で、45分間の一般質問（区政全般への質疑を区長が回答し、再質問というかたちで議論できる）に立ちました。こうやって議会の報告を始める、いちいち議会用語を説明しなければ、区民のみならずさまにご理解いただけたいとは思っています。

議会は専門用語だらけで、ようするに業界用語だから議会や区役所以外では通用しない言葉なのだが、それがまかり通っている。

しかし議会は自分勝手なもので、議会の制度や慣例を知

らない方が勉強不足だと言いたげな不可解な空気が議会にはある。

誰にでもわかりやすいのが「開かれた区議会」だと思いが、現状は伝統を保守しているのではなく、改革の努力を怠けているとしか言いようがない。

時代は変わっていくというのに、議会が変わっていかないので、私たちが日々の生活をいとなむ時代とズレるに決まっている。

変えようと思っても変えられない私へ「おまえが力不足なのだ」という批判があるなら、それは甘んじてうけます。私自身もそのような非力な自分に腹立たしいので、改革をするための不断の努力を続けたい。

2022年第4回区議会定例会で一般質問に立ちました
民営化した学童保育クラブで発生した賠償責任保険料の二重払い疑惑を質問しました

そのために一人でも多くの改革派議員が選挙で当選することを切望します。

第一の質問は
インクルーシブ教育について

さて、一般質問で最初の論戦として挑んだのは、今号の「hi64 TALK」にも書いた「インクルーシブ教育についての国連勧告が日本政府にあったが、目黒区の見解はどうか」という質問です。

この質問には教育長の関根義孝さんが回答しました。

目黒区は文科省の方針どおりインクルーシブ教育を推進している、現状の路線で今後も推進していく、という要旨の回答でした。

金井ひろし



誰もがともに学び、育ち、「共に生きる！」

Create a society where everyone can learn and grow together and realize "unity in diversity".
누구나 같이 배우고, 성장하고, '같이 사는 세상!' / 全员互助互学, 共同成长, 实现“共生向榮”



立憲民主党

私は、国連の勧告は日本の文科省の方針を是正せよと言っていると理解しています。またインクルーシブ教育を推進しているとは言い難い現実があると知っているのです、そこをどうするか議論したかったのですが、時間不足もあって基本的な議論が深まりませんでした。

私の質問の仕方の工夫が足りなかったという反省もありますが、私は目黒区が理想とするインクルーシブ教育とは何かを問い、その理想が共有できるものであればいいと考えていました。

国連から「傷害にある子どもにインクルーシブ教育の権利を」と勧告されているのだから、目黒区はいかに受けとめ、どう考えるのかを質問した。

その回答は、情熱を感じられない、そっけないもので、いままでどおり文科省の路線にしたがって進めていくと答えるだけであった。

大切なのは理想を語り合うことであり、そして共有した理想を実現していくことだと私は考えます。

インクルーシブ教育の実現を願うのは私のライフワークですから、今後も積極的に取り上げ、実現に向けて議論を喚起していきたいと思っています。

学童保育クラブで疑惑 賠償責任保険料の二重払い

第2の質問は「民営化した学童保育クラブで発生した賠償責任保険料の二重払い」という疑惑です。

これは一人の区民からの通知をうけて質問したことでした。

民営化した保育園の事業者が賠償責任保険を支払っていることを保護者へ通知しなかったため、保護者が別立ての賠償責任保険金を支払っていたという、保険料二重払いの疑惑です。

目黒区は学童クラブのみならず保育園や児童館の民営化を推進しています。多くの保護者が心配していたとおり丁寧な民営化移行の作業がなされていなかったのではないかと、事業者に丸投げする無責任な仕事をしたのではないかと。そういう行政のミスがあったのではないかとという質問です。

この質問は区長の青木英二さんが回答しました。

一事業者で連絡不行き届きがあった指導したと答えましたが、それは些細なことかのように行政ミスだとは認めなかった。しかも、事業者の保険と保護者の保険は、カバーする範囲が異なるので、保険料の二重払いには当たらないとの回答でした。

この言い逃れのような回答には納得がいかないもので、それぞれの保険の定款を調べるなどの再調査をして、もう一度質問をぶつけるつもりです。

そもそも区長も区役所も自分たちのミスを素直に認めたくない。それは責任を放棄するばかりか、改良を拒否していることと同じです。ミスを認めなければ責任の存在がわからなくならず、なおかつ反省するはずがなく、したがって改良の必要がないという論理にすり替えられてしまう。

区長や区役所が保身に走り、区民の生活と権利ががらにがらにされているという疑問は深まるばかりです。

45分間の質問時間を得られたので、さらに3つ目と4つ目の質問をしました。

「目黒区の区民への窓口対応を、庁内全体で見直すべき時がきているのではないかと」「2050年ゼロカーボ

ンシティの実現」に向けた目黒区の取り組みと『ゼロエミッション東京戦略』の受け止めと取り組みのなかで、ゴミ減量に向けてさらなる取り組みをするのか」です。

どちらの質疑にも区長が「積極的に取り組む」という要旨の回答をしましたが、新たな具体策はありませんでした。

私の質問の仕方が、まだまだヘタクソなので、具体的かつ建設的な回答を得られないということはあるのでしよう。また、知らないところで改善されている目黒区の方針や区役所の業務があるので、日常的なチェックが必要ですよ。

開かれた議会への改革をめざすためにも、質問力をアップするトレーニングをして、実のある質問をしていきたいと思っています。

この一般質問の映像が目黒区のホームページ「目黒区議会 議会中継」で誰もが自由にご覧になれます。

2022年「第4定例会・11月22日・本会議」で、どうぞ私の一般質問の模様をご覧下さい。

ご意見とご批判をお願い致します。



宮澤宏行 議長



金井ひろし 議員



青木英二 区長



関根義孝 教育長



金井ひろし 議員



青木英二 区長



関根義孝 教育長

支え合うことを安心に。 目黒区議会議員 金井ひろし

find strength in compassion of others and ensure security by supporting one another.

我们以多样性为荣，合力前进，互为股肱，安心宜居。

立憲民主党



区民の竹内みどりさん

人間は失敗したり間違ったりする。目黒区から提訴された東日本大震災の被災者さんについての区議会決議に、金井さんは間違っ

かなえるカナイ後援会会長 宇田耕一さん

議員のなかには選挙が近づくと、危機感があるのか露骨な選挙運動を始める人がいる。その気持ちもわからないではないが、見苦しいふるま



都議会議員の西崎つばささん

金井さんは「区民派」の区議会議員です。区議会でも区役所と折衝や交渉をするときでも、いつも区民に選ばれた代表であることを忘れず

みなさま誰もが自由に発言する市民集会

第13回 区政報告会&タウンミーティング開催!



2022年12月4日に「区政報告会&タウンミーティング」を開催しました。

25名のみなさまがリアル会場(自由が丘住区センター)とzoomリモートで参加して下さいました。

いつものように都議会議員の西崎つばささんも参加され、衆議院議員の手塚よしおさんも駆けつけて来られ、区政のみならず都政と国政まで広がる充実したタウンミーティングになりました。

「学童保育クラブで発生した保険料二重払い疑惑」の発言や「めぐろ被災者を支援する会」の報告など、身近な生活問題を中心に活発な意見が飛びかう、元気でリラックスした雰囲気なかで、あっという間の2時間がすぎました。

2019年4月の初当選以来、区議会定例会のたびに開催してきた、このタウンミーティングも、すでに13回を重ねたのです。

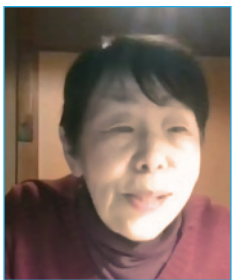
みなさまのご意見ご批判を直接お聞きし、より良い地域社会を作るために、今後もコツコツと地域活動を継続していきたいと思

次回タウンミーティングは3月5日に開催予定です。4ページで詳しくご案内しております。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願



衆議院議員の手塚よしおさん

金井さんは初心を忘れない政治家だ。毎週一回、都立大学駅前て区民に語りかけ、区民の意見を聞いている。区議会が開かれるたびに活動報告の「レポート」を発行し、タウンミーティングを開催している。こ



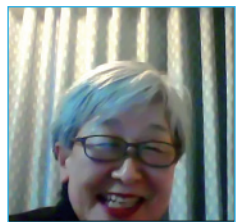
CANめぐろ代表の中村正子さん

東日本大震災の気仙沼からの被災者を、目黒区が提訴する決議をした区議会で、議員誰一人の反対もなかったと知り愕然とした。が、金井さんは判断の間違いを認め、被災者と区民へ謝罪し、被災者支援運動の一員になった。私

今回は3/5開催予定
みなさまのご参加を
心よりお待ちしております



金井さんと知り合ったのは、区議に選ばれる前の青年活動家だった頃です。だから私は昔から「金井くん」と呼んでいます。議員を「先生」と呼ぶ人がいますが「かなカナ会」ではひとりもそういう人がいません。私はかなカナ会のユルキャラである「カエルの着ぐるみ」を着てきましたが、そろそろ世代交代をしたいと思います。



区民の原口紅子さん



多様性を誇りに。わかちあうことを力に。

Create a society where everyone can pride themselves on living in a diverse society,

다양성을 자랑으로. 서로 나눔을 힘으로. 서로 도와주는것으로 안심을

議員の行政視察復活 他の自治体の現場を見て考える

目黒区議員の行政視察活動はコロナ禍第7派以後に復活しました。10月は都市環境委員会の一員として岡山県の岡山市、玉野市、倉敷市へ2泊3日の視察旅行。11月は区政再構築・感染症対策等調査特別委員会のメンバーとして兵庫県尼崎市、岡山県岡山市、広島県福山市を1泊2日で視察しました。



第11回わくわく子どもまつり 3年ぶりのリアル開催

目黒南西部地域の仲間たちと主催してきた「わくわく子どもまつり」は、コロナ禍で過去2年間リモート開催になっていましたが、今年は制限付きリアル開催が10/30(日)に実現しました。会場の鷹番小学校に2部合計で約170人が参加。伝統の獅子舞と荒馬踊り、琉球エイサーはいつ見てもわくわくします。



駅頭・辻立ちのための 新しい「タスキ」です

毎週・水曜日の朝・都立大学駅前、語りかけとご意見を頂戴する辻立ちをしています。そのときに使うタスキを新しくしました。「区政報告中」「共に生きる」「立憲民主党」と書いてあります。お気軽にお声がけ下さいというアピールのつもりで作った真新しいタスキです。(駅頭辻立ちは悪天候や体調不良などで中止することがあります。ご理解下さい。)

日本の日米同盟幻想は 核戦争の戦場になるリスク

ときおり仲間内で回覧される本がある。今月はこの本がまわってきた。

日本が核戦争の戦場になる可能性を分析している。最悪の戦争リスクを減らすには、日米同盟の幻想から抜け出し、対米従属をやめて、真に独立した政府をつくることだと筆者は言う。

核戦争は怖い。しかし何も考えないことは、もっと怖い。

『日米同盟・最後のリスク/なぜ米軍のミサイルが日本に配備されるのか』

著者: 布施祐仁

発行: 創元社

定価: 1,650円(税込み)



東京湾で釣ったスミイカ 好物の中華丼にして食べた

深秋の11月。横浜・根岸港から、いつものように乗り合い釣船で東京湾へ出た。海へ出るのは最高の気分転換だ。狙いはスミイカである。幸運にも3杯釣り上げ、帰宅してパートナーと料理にいそしんだ。中華丼、イカわた炒め、かりん揚げ、お刺身と豪華な夕食になり、ビールが旨い!



緑丘保育園の秋バザーで 恒例の綿菓子係やりました



コロナ禍で休止していた緑丘保育園の秋バザーが3年ぶりに再開。10/29(土)に約300人が集まりました。ボランティアで毎年お手伝いしていた私の綿菓子係も復活です。2時間のうちに80個も売れ、売り上げは保育園へカンパしました。顔見知りの卒園児たちが「手伝います」と集まってきてくれた。成長した子どもたちに感激しました。

金井ひろし ひなまつり集会 & トモダチ100人行動 統一地方選挙へチャレンジする4年に一度の総決起タウンミーティング!

- ★リアル参加とzoomリモート参加をお選び下さい。リアル参加の方は下記会場へ直接お出掛け下さい。
- ★zoomリモート参加の方は、下記の「金井ひろしQRコード」もしくは「金井ひろしのe-mailアドレス」へ、2月28日までにお申し込み下さい。zoomご招待の返信メールを差し上げます。
- ★コロナ禍の状況によりリアル会場は、密にならない座席配置と窓開け換気をほどこし、マスクの着用と、用意のアルコールでの手指消毒もしくは洗面所での手洗いをお願いすることがあります。
- ★4年に一度の大集会ですので、バンド演奏や中国古典芸能の変面などお楽しみいただけるスペシャルステージを用意しております。

日時: 2023年3月5日(日) 参加費無料ですが、活動資金のカンパをお願い申し上げます。

午前10時15分 開場 午前10時30分 開始 午前11時45分 終了予定

会場: 緑が丘文化会館・本館2階(東急線・自由が丘駅下車・徒歩10分)

会場住所: 目黒区緑が丘2-14-23 電話: 03-3723-8741

当日連絡先: 金井ひろし: 080-5195-2909

大人も、子どもも、赤ちゃんも、100人のトモダチを集めたいと思っています。
4月の区議会議員選挙について情熱を込めて語ります!



3
/5
日曜日



こんにちは! 金井ひろしです。

区政・活動報告レポートNo.15 2023年1月7日発行(通巻15号/第5巻第1号)

編集発行人: 金井ひろし 〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303

T E L : 080-5195-2909 E-mail: kanai.hi64@gmail.com



Official Web Site



金井ひろしQRコード

立憲民主党